



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：ムルシー大統領の支持率低下（世論調査）

エジプト世論調査センター（el-Baseera）が実施した世論調査によると、ムルシー大統領の支持率が全国的に低下していることが分かった。特に、1月から2月の1カ月間に、支持率は64%から53%へ10ポイントも下げた。

（調査日：1月30、31日。サンプル：18歳以上の2,303人。回答率：約76%）

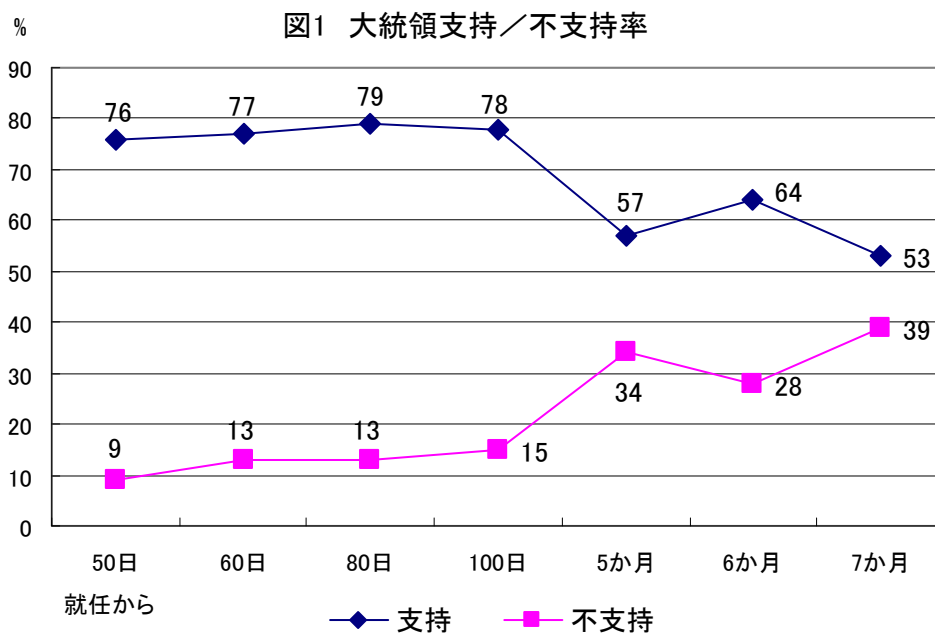
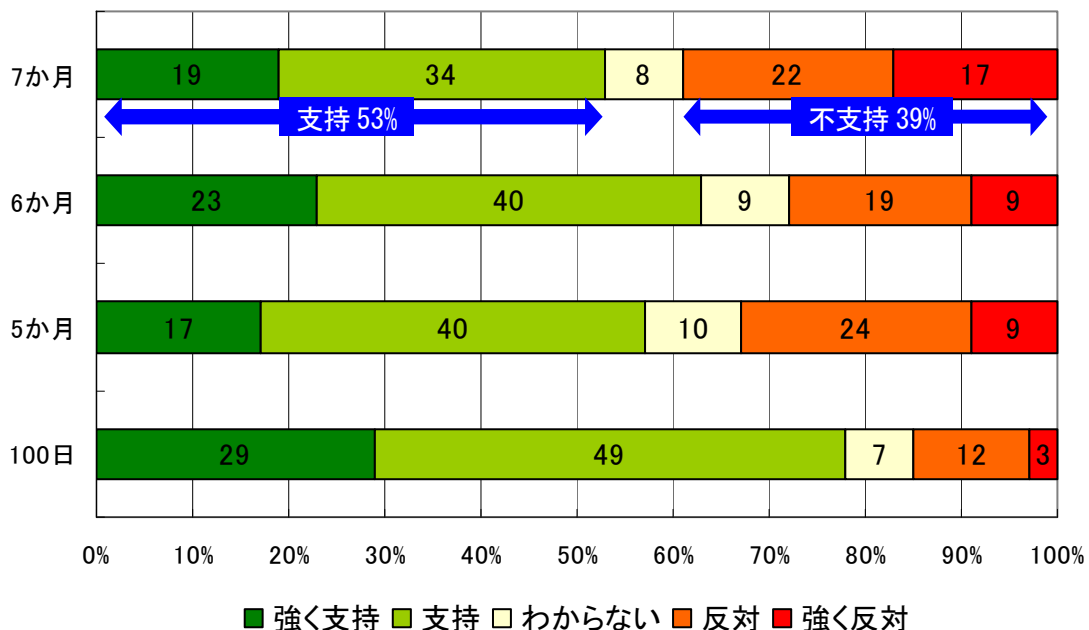


図2 支持／不支持の程度



1. 全国レベル

回答者はムルシー大統領の政治運営について、「強く支持」「支持」「わからない」「反対」「強く反対」のいずれかを回答した（図2）。このうち、「強く支持」と「支持」の合計回答数が大統領支持率としてカウントされている（図1）。

図1より、ムルシー大統領は就任（2012年6月）から100日間は75%以上の高い支持率を維持していたが、就任5カ月目以降、つまり憲法草案が完成した11月頃から支持率を落としていることが分かる。不支持率は、2012年12月から2013年1月の1カ月間に28%から39%へ上昇した。

2. 学歴別

学歴が高い者ほど、大統領支持率は低い。支持率が最も低かったのは、大学または高等教育機関で教育を受けた人々の間で、33%だった。一方、中等教育以下の人々の間では、支持率は56%に上った。

3. 地域別

都市部で支持率が低い。カイロなど大都市圏では支持率は36%と低いが、上エジプトでは64%、デルタ地方では52%だった。

（金谷研究員）